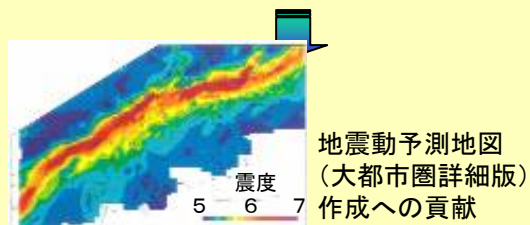


大都市大震災軽減化特別プロジェクト

～地震災害に負けない都市への再生～

首都圏(南関東)や京阪神などの大都市圏において阪神・淡路大震災級の被害をもたらす大地震が発生した際に、その人的・物的被害を軽減させることを目指して、以下の研究開発等を行い、地震防災対策に関する科学的・技術的基盤を確立する。

地震動(強い揺れ)の予測

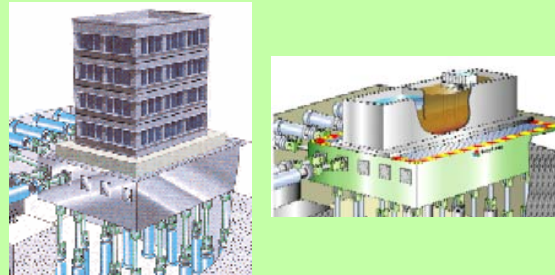


耐震性の飛躍的向上

H17 E-ディフェンスの運用開始

実物大の供試体による本格的な破壊実験

- ・鉄筋コンクリート建造物
- ・基礎地盤構造
- ・木造建造物



被害者救助等の 災害対応戦略の最適化



災害シミュレーションの活用

- ・自治体既存システムとの連動
- ・防災担当者等の能力向上

防災対策の統合化研究

- ・事前対策を充実させる政策・制度の検討
- ・時系列変化に対応した災害情報の収集、加工、伝達システムの構築
- ・復旧、復興のプロセスを円滑化させるための政策立案ツールの開発

地震防災対策への反映

～大都市地震災害の軽減化へ～
地震防災対策標準ガイドライン(仮称)の作成に寄与